

数々のテストで常にトップの収量！
イタリアンライのイメージを変えた現代の革命品種！

マンモスイタリアン

米作転換用に絶対有利！

マンモスイタリアンは葉や茎が巨大で旺盛に生育します。再生力も強く、年間6～8回刈可能の超多収品種。更に普通種よりも夏枯れ被害少なく、病気にも強いこのマンモスイタリアンをお使い下さい。



真夏の生育状況。左側のマンモスイタリアンAは
越夏永続性大で、良く繁茂している。
(右側は普通種)

マンモスイタリアンの使い方

—その特性を最大限に活用し、多収穫をあげるために—

マンモスイタリアンA

極晩生系、葉茎が大きく、再生力も旺盛。寒さにも強く、雪ぐされにも強いばかりでなく、夏の暑さにもかなり耐え、越夏性も良好。生存期間の長い品種で、2年に亘って利用もできる長期利用型品種。

春まきした場合は、その年は出穂せず、翌年に出穂する秋まき性のタイプです。

利 用

暖地の秋まきに最も適する。水田裏作用として多く利用されている。

畑地での栽培も良く、翌年の晩秋までに多収穫できるが、管理が良ければ、更に1年間の利用も可能。

生産量を上げるため、草地への混播用としても使える。春まきの場合、出穂しないので、放牧地への混播用も良い。

マンモスイタリアンB

早生系、葉茎が大きく、再生力も旺盛なことはAと同じ。耐寒性強い。とくに初期の生育が早いのと刈取後の再生と出穂が早いので、主として短期の利用や早期の利用に適する。

利 用

春まき、秋まき共に適する。

初期生育が早いので、暖地の秋まきでは、田畑の裏作、草地への混播用として利用。寒地の春まきには、この品種が良く、草地への混播や秋作物の前作として利用される。暖地春まき可能地帯で、短期利用としても貴重である。

高収量は優良品種であげましょう！

〈昨年のイタリアンライグラス品種の収量テストより〉

播 種 期 : 昭和43年10月2日
刈 取 期 : 昭和44年4月～11月
播 種 法 : 10アール当り、2.5キロ散播
施 肥 量 : 基肥……草地用尿素化成2号 100キロ、熔燐50キロ、石灰300キロ (10アール当り)
追肥……草地用尿素化成2号 60キロ、尿素40キロ (4回に分施)

マンモスイタリアンA

11,650キロ(4回刈り)

マンモスイタリアンB

10,950キロ(4回刈)

ワセヒカリ

9,700キロ(4回刈)

オオバヒカリ

9,960キロ(4回刈)

2倍体ライグラス系

〈普通種〉

7,300キロ (4回刈)

5,760キロ(4回刈)

……合計17,410キロ

3,760キロ

(4回刈)

……合計14,710キロ

3,780キロ

(4回刈)

……合計13,480キロ

3,810キロ

(4回刈)

……合計13,770キロ

夏枯れ枯死……………合計 7,300キロ

六月二十日

使い易く、あらゆる所で利用できるイタリアンライグラス

オオバヒカリ 晩生系、葉茎大きく、草丈も高い。分けつやや少ないが、再生力強く、長期利用に適する。耐寒性、耐病性にも強い傾向を示す。

暖地の秋まきに適し、水田裏作用、畑地の周年利用や永年草地への混播に良い。

ワセヒカリ 極早生系、草丈やや低いが、分けつ多い。生育が極めて早く、暖地の水田裏作用として最適の品種である。水田跡地に秋まきして、晩秋及び早春の早期利用が良い。

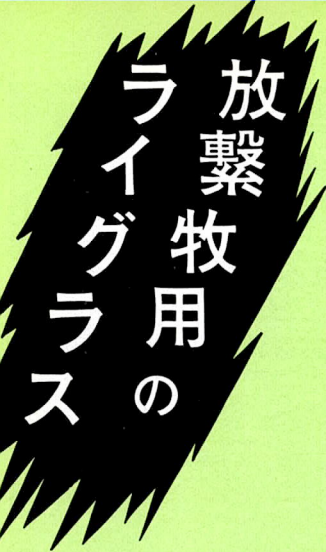
イタリアンライ (普通種) 早生系、生育早く、再生力も良い。水田裏作、畑地、草地などあらゆる所に利用できる。多雪地帯では越冬せず、又暖地の夏枯れ被害をうけやすいので、寒地の春まき、暖地の秋まきの早期利用が良い。

2～3作物を組合せて 反収20トンの多収穫に挑戦!

(多収穫栽培試験中間報告) (10アール当り)

組合せ作物名	播(キロ)種量(センチ)	播種法(センチ)	基 肥 (キロ)						追肥 (キロ)	栽 培 暦												取 量 (トン)	合 計 (トン)
			堆肥	石灰	硫安	過石	熔磷	塩加		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
スイートソルゴー (又はハイ・スーダン)	2 (3)	50×条	3000	200	30	30	30	15	尿素30 塩加20 (2回分)							1	2	3				10	20
マンモスイタリアンA	2.5	散	(草地用尿素化成2号 120)						尿素30 (刈取後 3回分)			3	4	5					1	2		10	
家畜ビート (ハーフエロー)	1	60×30点	3000	200	30	60	—	20	尿素15													11	20
家畜かぶ (下総かぶ)	0.2	60×条	3000	200	35	50	—	20	尿素20													9	
家畜ビート (ハーフエロー)	1	60×30点	3000	200	30	60	—	20	尿素15													11	20
マンモスイタリアンA	2.5	散	(草地用尿素化成2号 120)						尿素30 (刈取後 3回分)			3							1	2		9	
デントコーン (交1号)	4	50×40 3粒点 (2本立に間引)	3000	200	35	50	—	15	硫安15 塩加10 (草丈30~ 40cm時)													7	20
家畜かぶ (雪印改良紫)	0.2	60×条	—	200	100	90	—	45	尿素20													6	
青刈えん麦 (雪印改良101)	4	60×条	—	—	30	40	—	15	尿素15 (2回分)			1	2									7	
ローズグラス	1.5	50×条	3000	200	30	40	—	15	尿素30 (3回分)							1	2	3				10	20
マンモスイタリアンA	2.5	散	(草地用尿素化成2号 120)						尿素30 (刈取後3回分)			3	4	5					1	2		10	

▲……播種期、——……生育期間、////// 刈かく期、期間(数字は刈取回)



ペレニアルライグラスの改良優良品種

葉茎が巨大で分けつの多い多収品種。再生力や踏みつけに強く、放牧牧地は勿論のこと、採草地にもこの品種を混播すれば、生産力が相当高まります。

マンモスペレニアル



ペレニアルライグラス

放牧牧地の混播草種の1つとして広く利用されている

3～4年生の牧草で、草質良く、再生早く、踏みつけにも強い特性をもっています。

H・ワンライグラス

イタリアンライグラスとペレニアルライグラスの交配種で、夫々の長所を備えている2～3年生の牧草。即ち、イタリアンライグラスのように草丈高く、収量多く、ペレニアルライグラスのように寒さに強く永続性大である。このため、放牧、採草兼用種として広く利用されています。

イタリアンライグラスの栽培例

(数量は10アール当り)

区 分	地 帯	播種期	播種量	播 種 法	施 肥 量					収 か く		摘 要			
					基 肥			追 肥		利用時期	生産ステー ジ 別 収 量				
					堆肥肥	石 灰	化学肥料(成分量) 窒素 磷酸 加里	時 期	肥料と量						
水 田 裏 作	東北地方 (岩手県の例)	9/上～ 9/下	3～4 ^{キロ}	立 毛 間 散 播	— ^{キロ}	— ^{キロ}	4 ^{キロ}	6 ^{キロ}	8 ^{キロ}	早 春	N…12～16 ^{キロ}	5/上～ 5/下	2 回刈2.5 ¹ / ₄	() 内は立毛 中播種の場合	
	北陸地方 (新潟県の例)	8/下～ 10/上	2 (3)	散 播	2,000	—	3	5	10	融 雪 後 1ヶ月後 (融雪後 1番刈後)	N…5 N…10 N…5 N…10	4/下～ 6/上	1～2回刈5～6 1回 刈 4		
	東海地方 (愛知県の例)	9/上～ 10/上	2～3	散 播	4,000	100	7～ 10	15	7～ 10	年内刈取後 (又は越冬前) 3/上 刈 取 毎	各々 N…7～10 K ₂ O…10	11/下～ 12/上 4/中～5/下	1.5～2.5 2 回刈 4～7 2 回刈 2～3		11/下～12/上刈 取は早期栽培跡 地利用の場合
	近畿地方 (兵庫県の例)	9/下～ 10/中	1.5～2	稲立毛中 散 播	—	150	—	—	—	稲刈取後 3/上～中 刈 取 毎	各々 N…20 P ₂ O ₅ …20 K ₂ O…5	11/下 4/上～ 6/下	3～4 回刈 4～7		不耕起播、普通 水田あと
畑 地	北陸地 方	8/下～ 9/下	2	散 播	2,000	—	3	5	10	融 雪 後 又は刈取後	N …… 5 K ₂ O …… 5	10/下～11/中 4/下～6/下	1～2回刈 3 3～4回刈10	多雪地帯は降雪前に銅 粉剤5キロ(10アール当)	
	関 東 地 方	9/上～ 11/上	1～2	散播又は 45～60×条播	2,000	80	10	12	12	刈 取 後	N …… 4	11/上～12/下 4/上～6/中	6～8	水田裏作は早生 稲跡を利用	
	東海・近畿 地方 (愛知県の例)	9/上～ 11/中	散…2 条 1.5	散播又は 18×条播	3,000	150	10	15	15	刈 取 後	N …… 20 K ₂ O …… 20	11/下～12/中 3/下～6	3～4 回刈 6～10		
	九州地方 (宮崎県の例)	8/下～ 11/中	早まき1.5 遅まき3.0	散 播	1,200 ～1,500	100 ～120	10	10 ～20	10 ～20	11/中2/中 刈 取 毎	各々 N…5	11/中～5/下	4～5 回刈 5～6		

(N …… 窒素、P₂O₅ …… リン酸、K₂O …… 加里)